

地域再生計画（地方創生污水处理施設整備推進交付金）事後評価調書

都道府県名	栃木県	事業実施主体	鹿沼市	地域再生計画名	鹿沼市「次世代につなげる「いちご市」かめま計画」
計画期間	令和2年度～令和6年度	評価責任者	鹿沼市上下水道部下水道課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	地域再生計画の目標		基準値		中間目標値		最終目標値			事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価	
			基準年度		年度	中間実績	基準年度	最終実績						
	目標 1	汚水処理人口普及率の向上	86.6%	H30	88.1%	R4	90.1%	89.2%	R6	92.6%	○	指標 総数		達成 数
	目標 2	水洗化率の向上	94.1%	H30	94.8%	R4	94.2%	95.3%	R6	95.3%	○			
目標 3	新規就農者の獲得	46人	H30	66人	R4	97人	76人	R6	132人	○	3	3	生活基盤の整備及び農業用水の水質が向上したことにより、新規就農者の獲得の目標値を達成することができた。	
②事業の実施状況に関する客観的な指標（KPI）の実現状況	重要業績評価指標（KPI）		基準値		中間目標値		最終目標値			事後評価	達成状況			
	指標 1	汚水処理人口普及率の向上	86.6%	H30	88.1%	R4	90.1%	89.2%	R6	92.6%	－			
	指標 2	新規就農者の獲得	46人	H30	66人	R4	97人	76人	R6	132人	－			
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
			計画	中間年度（R）	最終実績									
	地域再生計画に記載がある特別の措置を適用して行う事業	汚水処理施設整備推進交付金（公共下水道）	4030m	3,198m	4,422m	計画以上に公共下水道の整備が進み、汚水処理人口普及率の向上が図られた。								
		汚水処理施設整備推進交付金（個人設置型浄化槽）	600基	277基	459基	計画基数に達しなかったが、年平均91件の申請があり、良好な生活環境の保全と公衆衛生の向上に寄与した。今後は、交付金の継続活用や補助金の増額などにより事業の更なる促進を図っている。								
その他の事業	子育て支援への企業支援	仕事と子育ての両立を推進する企業に対する支援			仕事と生活の調和を図るワーク・ライフ・バランスの推進として、「イクボスカめま宣言」を行った企業をホームページに掲載した。「イクボスカめま宣言」をすることで企業のイメージアップが図られた。									
	就業支援事業	関係機関と連携し、合同企業説明会及び面接会を開催			関係機関と連携し、合同企業説明会や面接会を開催し、就業支援を図った。									
	空き家バンクPRと運営	空き家バンクの効果的なPR及び空き家の登録促進			空き家バンクのPR及び空家等の登録促進を図り、空家等の活用促進を図った。									
	雨水活用の推進	浸水害の防止、地下水涵養のため市民が設置する雨水浸透桝、雨水貯留槽の設置費用の補助			広報やHP等で補助金の周知を行い、設置費用を補助することで浸水害の防止、地下水涵養を図った。									
計画外で独自に実施した事業														
④評価方法	令和7年10月20日に学識経験者である宇都宮大学教授（鹿沼市上下水道部事業経営委員会委員長）による評価を行い、令和7年10月27日に鹿沼市上下水道部事業経営委員会において報告を行った。													
⑤事後評価の公表方法	鹿沼市ホームページに掲載													
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画は、地方創生汚水処理施設整備推進交付金の活用により下水道と浄化槽を一体的に整備し目標を大きく上回る成果をあげたため、事業実施の効果は十分にあったものと考えている。													
⑦今後の方針等	今後も公共下水道施設と浄化槽の整備を進めることで汚水処理人口の向上を図り、生活基盤の整備による地域の活性化を図る。													